

授業力向上の鍵は、協同から生まれる小さな確信

北海道真駒内養護学校 授業力向上チーム

Key Words：カリキュラム・マネジメント、分掌再編、教材・教具の作成、指導略案

授業力向上の鍵は、**協働**から生まれる小さな確信 Part2



北海道真駒内養護学校
主幹教諭 安達 雅美
授業力向上チーム
山中純大、長谷恵美子、小野幸司、神谷育恵、永澤静男、松岡咲希

現状と課題

学校評価から、
教職員は授業づくりに不安

本校の教育の推進には、
教職員の**協働**が極めて重要

Team異動内 協働の要点
個々の「型(専門性)」の研鑽から、
児童生徒のことを語り合う組織づくりが求められた。

分掌再編

- 平成29年度より、「協働する組織づくり」のため、運営委員会が中心となり、分掌再編を実施

【目的】

- ① 円滑な学校経営を実践するためのより有効な編成
- ② 業務の平準化と効率化、～子供のことや授業を考える時間を生み出す～

R2の取組

【プラス研修】
自立活動の目標設定
観察と運動の観察と環境



自立活動の目標設定 ～課題関連図の作成～

【事例：小学部3年生、佐川摩祐さん、読解情報下位】



2 課題の抽出の要点

【これまでに生活、学びの履歴から】

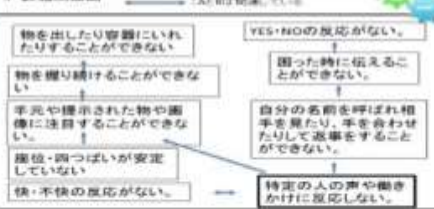
これまで生活や学びの履歴、周囲の様々な人々との関わりの中で、課題は特定の人の助けや協力によって克服する機会が多くあり、支えられていることと実感。

・自分の世界の中で活動が得意なことで活動が通じていることと、見られる自分が、相対的な価値がつけられるように感じていることと、価値は自分から与えられるものだから積極的に与えたいという気持ちがあること、(可なり自信があること、得意なこと)

・「世の中を豊かにする喜び」があること、朝朝の言葉や行動に自分も影響を受ける、(世の中を豊かにしたい)

【3年後の姿から】
・自分の気持ちをもっとわかってほしい(本人の気持ちを保
護者が代替)
・好き、嫌いやYes、Noがもっとはっきり意思表示できると良
いと思う。(保護者)

4 國際學術研討會論文集



4. THE MODEL

【9年間にわたる実績】
人の働きかけに対して多く施設すること
が得意で、VIXの意思表示ができる。
相手に伝える事ができる。

【1年後にめざす姿】
・名前を呼ばれると反応することができる。
・好きなもの(こと)や嫌いなもの(こと)を相手に伝える。

IF YOU ARE OVER 50:

平歩び・昇進び・やり取り遊びなどを通し教師とコミュニケーションを増やすことで、相手との信頼関係を築き、自分の世界だけでなく、人への関心が増え、外野に少しずつ興味を持つのではないかと考えている。最初の目標として分る名前を呼ばないことと人への関心の反応とし、それを養われることで、相手に伝える経験を増やすことで伝える表現が増えていくのではないかと考えている。

また、働き方に応じることや、安定した姿勢の維持を誰でも見る時間や注目する時間が増えていくのではないかと考える。

【くんの現在の姿（課題関連曲より）】
本史は30年生から少行きの活動が始まり、祝歌にその活動を表す姿が見られるようになってきた。目の前に使ったものを手と伸ばして触ろうとする姿も多くみられる。しかし、コミュニケーションにおいては自分だけの世界で活動していることが多く、周りの働きかけに応じる姿はあまり見られない。好き嫌いに関しては、音楽が鳴ると音が大きくなると強固で声を出していることは見られるが、嫌いなことに對しての反応はあまり表出が見られない。